蓮田市農業委員会の委員　推薦及び応募一覧（最終公表）

受付番号	応募推薦	被推薦者又は応募者									推薦者									
		氏　名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況		認定農業者の別	抱負・応募の理由	個人				法人・団体					推薦の理由
							営農類型	経営面積（アール）			氏名	性別	年齢	職業	組織の名称	代表者又は管理者氏名	活動の目的	構成員数	構成員の資格・要件等	
1	推薦	渋　谷　悟	男	55	農業	農地利用最適化推進委員 令和２年7月～現在 消防団 平成2年４月～平成23年4月	水稲 施設野菜 果実 花卉・植木	496.91	該当（渋谷農園）	蓮田の農業が持続可能になるよう、お手伝いをしたいと思う。					上平野　上自治会 上平野　下自治会	田口　実 稲橋　和通	地域の共同活動	92 124	自治会内に住所を有する者	上平野地区の中核的な専業農家として農業に長年従事し、温厚な性格と強い責任感で、地域の中心的な存在としてご活躍されています。 農地利用最適化推進委員を1期務めるなど知識と経験を有するとともに、今後の地域農業の発展に向けて活動に高い意欲を持っていることから、農業委員として強く推薦します。
															上平野西部農家組合	篠崎　和男	地域農業者の共同組織	28	地域内に居住し農地を有する者	農業の経験が３０年以上あり、地域農業を継続できるよう考えている。
2	応募	野本和貴	男	74	無職	自治会　班長・議長 S60.4～61.4			無	農業問題の解決のためには市街化調整区域の農業復興農地（青地）又は、（白地）の稲作耕作地の集約ができるかどうかが決め手になると考える。 集約のための企画立案、指導力、熱意等を有する地域の若き指導者が必要です。過去の行政主導によっての試みは成功しません。難問が生じると行政に頼り、すぐ挫折します。その為、現在は、地域で企画立案したことを行政が点検、検討を行い可能性が高ければ助力・応援する仕組みで有ると承知しています。まず、地域の若きリーダーの発掘が必要です。集約の為には人を得ることが一番です。農業委員の仕事としては、農業七法の遵守のための仕事とともに日本農業の未来のため模索することも大事であると考えます。 （中略） 人間の出会いは縁がなければ結実しません。蓮田の地域において出会いの有無も結実の是非もわかりません。多くの若き農業者と語り合い夢見る農業にいくらかでもなるように努めたく応募いたしました。										
3	応募	齋 藤 和 久	男	54	会社員	消防団 平成５年４月～現在	水稲 花卉・植木	68.18	無	私が住んでいる蓮田の農業の現状や課題、今後の発展性について大変興味があります。農業に携わっている方々やこれから農業に挑戦しようとする方々と継続的な農業推進支援が行えればよいと考えています。未来に残せる蓮田の農業へのお手伝いが出来たらよいと考えております。 自身が一番活動できる時に農業委員を経験することで、多くの方々との繋がりを作る良い機会と考えています。これは、生前父が農業委員として活動し多くの方々との繋がりができていることを見てきましたので、私もこの機会に自身のレベルアップ時期ととらえ活動できたらと考えています。 農業委員の活動は平日中心であるため会社員では対応できなかった部分ですが、働き方改革も進んだことで会社の勤務時間の調整が可能となり、平日の会議出席や現地調査なども活動可能な状況になりました。										